

IV 資料

1. 長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要

長崎大学ダイバーシティ推進センターでは、今年度から、ダイバーシティに関わる研究を発展させていくことを目的に、その科学的知見を蓄積し、広く公開する『長崎大学ダイバーシティ推進センター研究紀要（Diversity and Inclusion Research in NAGASAKI University）』を発行することになりました。

年1回発行とし、オンライン・ジャーナルの形態で公開します。

今年度は、2名の方からの投稿があり、3月末に発行しました。目次は以下の通りです。

原著	
新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおける長崎大学留学生のメンタルヘルス及び学習への影響に関する研究	昔 宣希、清田智子、 ヌルガリエヴァ・リヤイリヤ、 彗田美有紀
活動報告	
ダイバーシティ推進センターにおけるSDセミナーの企画と運用	矢内琴江

投稿規定の主な内容は以下の通りです。

【投稿者の資格】

- 1) 第一筆者もしくは責任筆者は、長崎大学教職員のうち、ダイバーシティ推進センターの各種委員会等の委員とする。
- 2) 共同執筆者は、1) の指導または協力による共同研究者（学内、学外を問わない）を含むことができる。
- 3) ダイバーシティ推進センター長が適切と認めた者。

【刊行・公開の形態】

- 1) 紙媒体での刊行は行わない。
- 2) 電子化公開（オンライン）のみとし、長崎大学学術研究成果リポジトリに掲載し、公開する。

【原稿の種類】

原稿の種類	内容
原著	適切な方法論に基づいて実施された研究・観察であり、独創性・新規性ともに科学的価値が認められる論文
展望	これまでの知見、研究業績を総括し、解説した論文
実践研究	テーマの実践について研究・観察された論文
活動報告	テーマの実践報告であり、他地域・分野で同様の事業・活動を展開する上で参考になる報告
資料	貴重な資料となるデータを有している論文
その他	上記のいずれにも該当しない原稿で、重要な内容を有しているもの。編集委員の判断により、適宜、「オピニオン」「書評」等のカテゴリーを設けることがある。

2. ニュースレター (おもやい通信)

おもやい通信第53号 (令和5年5月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2023.5 Vol. 53

令和5年度ダイバーシティ学習プログラム(学内限定)

長崎大学で学びますので、その役割を十分に発揮できるダイバーシティ環境をつくっていくために、多様性についての理解を深める学習プログラムです。e-learning、ワークショップ、講演会、シンポジウムなどを組み合わせながら、体系的に学びます。

①e-learning
教職員はアンコンシャスバイアスの受講が義務となっています。

②SDセミナー
過年度に1回開催しており、教職員の方には、少なくとも年に1セミナーの受講をお願いします。ぜひご参加ください。

<スケジュール>

実施日時	実施方法	テーマ	講師
6月22(木) 16:10~17:40	Zoom	留学生との関わりから学ぶ多文化共生	夢田美有紀准教授 (留学生教育・支援センター)
7月3日(月) 15:00~16:00	Zoom	男性育休	三浦雅樹教授 (大学病院心臓血管外科)
8月30(水) 14:00~15:00	Zoom	仕事と介護の両立セミナー①	大町由里氏 (長崎市介護支援専門員連絡協議会 会長)
9月7日(木) 13:00~17:00	対面 Zoom	第14回九州・沖縄女性研究者アワードシンポジウム「長崎多様なリーダーの育成と活躍—いま大学に求められることは何か—」(仮)	基調講演講師・萩原なつ子氏 (独立行政法人国立女性教育会館 館長)
9月14日(木) 14:00~15:00	Zoom	仕事と介護の両立セミナー②	藤井寿氏 (長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長)

ウェルカムカフェを開催しました

5月22日に、ダイバーシティ推進センターで新教職員と在任教職員の交流のためのウェルカムカフェを開催しました。ダイバーシティ推進委員会委員の皆さまの協力を得て、毎年開催されているウェルカムカフェです。今年も、対面とオンラインの両方の開催となりました。長崎に来られたばかりの教職員の方も、長崎大学に長くいらっしゃる方も、地域の皆さまの皆さまの活躍や活動など、お互いの話、自分の出身地と長崎の違いなど、自由に話合い、色んなお話ができました。これからも、大勢のみなさん、新教職員、教職員の思いを越えて、ゆるやかなつながりを作っていくことができるとしています。

おもやい通信 Vol.53

令和5年度おもやいキッズ(学内学童保育) 児童募集

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年間中止していた夏休み期間中の学内学童保育を実施します。今年度も、イベント小催しをご用意し、1日、参加をご検討ください。

実施期間: 令和5年7月21日(金)から8月25日(金)まで
(土日、8月9日、8月11日~16日を除く21日間)

対象: 長崎大学に勤務する教職員の子ども(小学校1年生から6年生の児童)

場所: ダイバーシティ推進センター(文芸キャンパス)

受付期間: 令和5年5月22日(月)~6月2日(金)12時まで

長崎大学内の人材や施設・物品等を活かし、子どもたちが家でできない経験を通して、目標である「楽しく遊び、学べる子」の育成を目指しています。

『第8回長崎大学 未来に羽ばたく女性研究者賞』募集

女性研究者自身及びこれに多くの若手女性研究者の協力をし、その研究課題一層高め、もって学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成を旨とすることを目的としています。多くの女性研究者の方の応募をお待ちしております。

【募集期間】
令和5年6月1日(木)~8月18日(金)正午必着

【対象】
本学において研究を行う本学所属の50歳以下(令和5年4月1日時点で50歳未満)の助教以上(教授を除く)の女性研究者で、かつ、男女共同参画推進に貢献している、もしくは視点を持つ者。

【賞】
優秀女性研究者賞(正賞:賞状 副賞:研究費)
優秀女性奨励賞(正賞:賞状 副賞:研究費)

【応募結果発表】
令和5年11月頃

令和5年度 第1回ケアラース交流会

自身の介護手段について学ぶとともに、介護についての悩みや不安を語り合いませんか。経験者もいる人、ほかにたてもご参加できます。

日時: 令和5年6月1日(木)
13:00~15:00
場所: 集い木かき(住吉町4-9)
講師: 井口茂樹(保健学科)
対象: 電話:095-819-2179

【注】ダイバーシティ推進センターの運営にご理解とご協力をお願いいたします。

【注】本学職員、今後力を尽くしてまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

【主催・発行】 国立大学法人長崎大学ダイバーシティ推進センター
〒852-8521 長崎県長崎市1-14 TEL:095-819-2889 FAX:095-819-2159
E-mail:comodiv@staff.nagasaki-u.ac.jp HP:https://www.cdn.nagasaki-u.ac.jp

おもやい通信 Vol.53

おもやい通信第54号 (令和5年8月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学 ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2023.8 Vol. 54

第14回九州・沖縄アワード 女性研究者支援シンポジウム in 長崎大学
多様なリーダーの育成と活躍—いま大学に求められることは何か

日時: 9月7日(木)13:00~17:00
場所: 長崎大学中野講堂(※オンライン配信あり)
基調講演: ジェンダー平等の視点から考える多様性/ダイバーシティ パネルディスカッション 第1部 女性リーダーの育成とキャリアパスの構築
第2部 リーダーの意識改革
申込: <https://forms.office.com/r/vQLeW5DegM>

本センターでは、九州・沖縄アワード女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)と連携し、九州・沖縄地区で文部科学省科学技術振興機構「女性研究者支援モデル育成事業」をはじめとした女性研究者支援事業に取り組む大学等の自由な連携等を促進するネットワーキングです。現在、15大学が参加しており、長崎大学は第1回のシンポジウムの開催地として2009年から参加しています。

目的は女性研究者の割合は少しずつ増加しているものの、依然として低い傾向にあります。女性力を発揮できる環境となるためには、これまで進められてきたポジティブアクションに加え、ダイバーシティ&インクルージョンを不可欠で、性別、年齢、国籍などに関係なく一人ひとりが力を発揮できる組織文化を醸成し、その組織全体の改革を推進します。特に、リーダー層におけるダイバーシティの表現、組織全体の改革を推進していくために、さらにはダイバーシティ社会の実現を加えていくことも、必須の課題でしょう。

大学が知の創造の拠点としての役割を果たし、より良い社会の構築に貢献していくために、ダイバーシティの観点からリーダーの育成と、リーダーとしてのキャリアパスをどのように構築していくのかが、基調講演とQ-wea参加5大学の基調・シンポジウムによるパネルディスカッションを通して考えます。

仕事と介護の両立セミナー ZOOMウェビナーによるオンライン・無料

介護について個々の理解を深め、仕事と介護の両立できる環境作りを取り組むとともに、介護について話しやすい職場風土をつくりませんが、現在介護中の方も、介護なんてまだまだという方も、ぜひご参加ください。仕事と介護の両立について考え、介護と向き合っていく方法を学びます。

8月30日(水) 14:00~15:30
新介護者の生活の幅を拓く
—介護施設あれこれ/ケアマネジャーとの上手な付き合い方—
○介護施設について(種類・費用・入居要件等)
○在宅介護について(ケアマネジャーとの上手な付き合い方等)

9月14日(木) 14:00~15:30
認知症に奮闘するパートナー—正しく予防、正しく知って対応するために—
認知症がもたらすまたは認知症と診断された時
○家族がやるべき事やできる事
○進行する前にしておくべき事や本人へのアプローチ方法等

おもやい通信 Vol.54

ダイバーシティ オンラインカフェ

学生への指導のみならず、コミュニケーションの大切さ、授業の工夫など、教育現場に携わる方々の先見性や知見、自由に語り合います。

8月7日(月) 15:00~16:00
開催方法: Zoom
対象: 長崎大学の教職員

話者提供: 医療福祉センター 教授 萩原なつ子 人文社会科学部(多文化社会科学系) 准教授 藤田尚美

研究カアップセミナー
もっと伝えるための英語プレゼンテーションスキル

直ぐに使える効果的な表現を身につけ、英語プレゼンテーションスキルを高めましょう。

9月20日(水) 13:30~15:00
開催方法: Zoom
講師: 藤上南次郎教授 (長崎教育センター)
対象: 長崎大学の研究者、大学院生など

ワークショップで参加同士、実際に練習をしたり、講師がフィードバックをもらったり、実践的に学びます。

仕事と介護の両立サポート教職員相談会

現在、または将来の介護に不安を抱える教職員のみなさまに、仕事と介護を両立していただくための、介護に関する悩みや疑問、学内の介護制度等について、どのようなことでも自由に相談ください。その日の旨でも、いつでも対応可能です。ご連絡ください。

8月29日(月) 9:00~18:00(予約制)
※当日予約
対象: 長崎大学教職員、学生
御連絡はオンラインにてお申し込みください。

教育・研究サポート人材バンク

業務補助やデータ入力などサポートしてくれる人材を登録学生から探してみませんか?

アルバイトながら、自身の教育・研究の向上につなげてみませんか?

【求人者】
長崎大学の教職員
【求職者】
長崎大学の学生
登録がフリーです。

『おもやいキッズ(学内学童保育)』 保育目標: 「友達と楽しく遊び、学べる子」

7月21日(金)から、おもやいキッズはスタートしました。コロナにより中止していた、4年ぶりの開園です。学内のいろいろな先生にご協力いただき、毎日さまざまなイベントを実施しています。子どもたちは、さまざまなイベントを体験し、多くの学びを得ています。皆さんも一緒に、楽しく遊びに参ります。

野原の情景で遊び!

人工イコロ!

【編集・発行】 国立大学法人長崎大学ダイバーシティ推進センター
〒852-8521 長崎県長崎市1-14 TEL:095-819-2889 FAX:095-819-2159
E-mail:comodiv@staff.nagasaki-u.ac.jp HP:https://www.cdn.nagasaki-u.ac.jp

おもやい通信 Vol.54

おもやい通信第55号 (令和5年10月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2023.10 Vol. 55



ダイバーシティ推進センター長 安武 敦子

はじめまして。10月より長崎大学のダイバーシティ推進センター長になりました。まずこの場をお借りして、私自身について少し紹介させていただきます。

私は工学系で建築学を専攻し、その中でも特にハウジングに焦点を当て、人口減少や空き家問題に取り組んでまいりました。さらに、長崎の歴史ある建築物を活用する「長崎ビネージビルディング愛好会」を主催し、古い建物好きな方々と活動を行っています。古い建物に興味をお持ちの方は、ぜひ一緒に活動しましょう。

さてダイバーシティに関してはまだまだ多くの課題が存在しますが、男女格差の他正もまだまだです。このテーマは個人によって温度差があり、社会的スタンスはどこまで共有を困難に感じる場面が多々あります。このニューズレターを読んでいただく方が多くを希望しています。そんな時代もあったと語る未来になるためには、一人一人が時間を充てて説明し、共感を広げて身並を築いていく。そしてそういう志をもった方を応援できるセンターにもなればと願っています。

センターはこれまで、個々の権利に即した活動を推進しつつ、一人一人を支える活動も大切にされてきました。今後もバランスよく進めていきたいと思っております。状況を知るためにお話を聞く機会も増えたいと思います。皆様のご声にお応えしながら、ダイバーシティを推進していきます。「普通」の未来を築いていくなかに、改めて皆様のご協力をお願いいたします。これからまずは2年、どうぞよろしくお願いいたします。

実施日時	実施方法	テーマ	講師
10月20日(金) 13:30-14:30	Zoom	多文化共生	伊田 美有紀准教授 (留学生教育・支援センター)
11月8日(水) 13:30-15:00	Zoom	SOGIEハラスメント	高牧 剛英氏 (NPO法人カラフルチェンジラボ)
11月10日(金) 12:10-13:00	Zoom	男女共同参画の視点からの災害・避難所運営	竹田 周平教授 (福井工業大学 工学部建築土木工学科)
12月15日(金) 15:00-16:30	Zoom	女性の健康の視点から考えるライフイベント	安武 敦子院長 (医療法人すひろみズヘルスクリニック)

教職員は少なくとも1回は受講してください。また、e-learning基礎編・管理編が未視聴の方は、ご覧くださいませようお願いいたします。

おもやい通信第56号 (令和6年1月発行)

NAGASAKI UNIV. 長崎大学ダイバーシティ推進センター

NEWS LETTER

おもやい通信 2024.1 Vol. 56

第8回長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞発表会および授与式報告

第8回となる今年度は、令和5年6月1日から令和5年6月18日に公募を行い、選考委員会において慎重に選考し、優秀な女性研究者賞および優秀女性奨励賞受賞者を決定しました。今年度は、3名の優秀女性奨励賞を受賞しました。

受賞者発表会および授与式は、令和5年12月13日、文芸学カレッジ文芸学ホールにおいて執り行いました。

研究発表会は、3名の受賞者が次の内容で発表しました。

住吉玲美助教「特異性多中心性キヌルマン病、TAFRO症候群の病態解明」、古山若穂助教「フィロウィルス感染症の病態解明」、高牧 剛英氏「熱帯熱マラリアの病原性発現および感染機序の解明」。

研究発表後は、会場に参加者から様々な質問があり、また今後の活躍への期待も述べられました。

本学長からは、受賞者の優れた研究活動への称賛と、今後本学として女性研究者をいっそう支援していく旨が述べられました。また、賞状授与から受賞者の研究の質の高さへの讃嘆と、この賞を通じて次世代の女性研究者の育成につなげていきたい旨が述べられました。

今後も女性研究者がその力を発揮し、広く活躍できるような支援をしてまいります。

(左から高牧 剛英氏、高牧 剛英氏、古山若穂助教、永安史学長、住吉玲美助教、田代 敦子、安武 敦子)

令和5年度病院の働き方改革シンポジウムの開催案内

「病院の働き方改革シンポジウム」を開催いたします。今年度働き方改革の参加チームによる取り組み内容・成果報告に加え、他の大学病院・企業向けに本学大学病院心臓血管外科で導入された診療支援システム「シンポジウム」の紹介と、その役割と医療現場の働き方改革に対する効果について対談形式でお話を伺います。より良い医療の実現のために、多岐にわたる医療現場における働き方改革について一緒に考えたい。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】令和5年2月28日(水)14:00-16:00
【実施方法】オンライン形式
【内容】
取組成果発表：耳鼻咽喉科(長崎大学病院)、皮膚科(長崎大学病院)、放射線科(長崎大学病院)、形成外科(長崎大学病院)
講演(対談形式)：診療支援システムの導入による働き方改革
長崎大学病院心臓血管外科 三浦 崇 教授、村友枝 診療看護師

【申込】
要事前申込 <https://forms.office.com/r/3UJGbxRQ9>
申込みはこちら

第8回 長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞 受賞者発表会および授与式

今年度は研究者1名、奨励賞2名の応募があり厳正な選考の結果、3名を優秀女性奨励賞に選出いたしました。なお、今回は優秀女性研究者賞の受賞者はおませんでした。

優秀女性奨励賞
病態解明センター 助教 住吉玲美
突発性多中心性キヌルマン病、TAFRO症候群の病態解明

高牧 剛英氏
熱帯熱マラリアの病原性発現および感染機序の解明

研究発表会および授与式
ご参加を希望される方は、当センターまでご連絡ください(12/8まで)。
【日時】令和5年12月13日(水)11:00-12:15
【場所】文芸学カレッジホール

12月1日より、令和6年度の女性研究者海外派遣制度が開始されます。海外における研究で、女性研究者の皆さんが、さらなる国際的なリーダーシップを身に付け、活躍されることを目指しています。

先着順で受け付けます。
【申請期間】2月末日までに納品完了するもの
【お問い合わせ先】文芸学カレッジ

11月11日は介護の日

介護について、知識を得るのには、まず自分自身から介護を受けることへの理解と認識を深め、介護の現場を知る、安心して仕事を継続できるような取り組みの取組を推進してまいります。

仕事と介護の両立サポート 教職員研修会
11月10日(金) 11:00-12:00
場所：予約

共通テストの一時保育案内
1月19日(土)、14日(日)に実施される大学入学共通テストの受験に携わる教職員を対象に、お子さまの一時保育(無料)を行います。
詳細は後日メール、HP等でお知らせいたします。

令和5年度ダイバーシティ推進学習プログラムSDセミナー

実施日時	実施方法	タイトル	講師
1月29日(月) 14:30-15:30	Zoom	共生社会の実現～職場の観点から～	ピーター・バーニック 助教 (障がい学生支援室)
2月28日(水) 14:00-16:00	Zoom	令和5年度「病院の働き方改革シンポジウム」	【講演】 病院 心臓血管外科 三浦 崇 教授 【成果発表】 村友枝 診療看護師 病院 皮膚科、耳鼻咽喉科ほか

教職員は少なくとも1回は受講してください。また、e-learning基礎編・管理編が未視聴の方は、ご覧くださいませようお願いいたします。

介護準備のABC～働くあなたのために～ 改訂しました

少子高齢化が進む中で、家庭の介護のために転職や離職する方が増加傾向にあります。介護を担う世代は、社会や企業において責任ある立場に立っていることが、とても重要です。介護については、資格をとるための学習だけでなく、経済的および精神的な安心と満足感を得ながら、仕事と介護を両立させる環境を整えて、自身また家族は、どのような働き方を選択することが大事です。

本学では「仕事と介護の両立に取り組み、介護準備のABC～働くあなたのために～」を作成し、このたびに改訂しました。

介護が気になる方は、お手元においてご活用ください。今までは印刷品しかありませんでしたが、電子版も作成しました。電子版はいつでもどこでも閲覧することができます。また、印刷版もご活用ください。

詳しくはこちら

個室トイレに生理用品ディスペンサーを設置、無償提供を通じて、快適な学生生活を応援します

令和5年10月23日より、文芸学カレッジの女性トイレ11ヶ所にてOIT(イテイル)機器を設置予定です。生理用品の無償提供を開始しました。生理用品が不足する心配をなく、安心して過ごすことで、学生生活の質を向上させ、SDGsのゴールである「誰も置き去りにしない(leave no one behind)」にもつながります。また、本学の誇るフロンティアヘルスへの貢献にもつながります。

「生理用品」という経済的負担だけでなく、生理に伴うさまざまな負担軽減につなげ、経済格差やジェンダーギャップ等の不均等を是正し、女子学生が安心して進めるキャンパスづくりに長崎大学は取り組んでいます。本学学生及び教職員のみならず、自由に利用ください(※利用方法はトイレに記載)。

また、現在、各キャンパスへの設置を進めております。

3. ニュースレター（介護の通信）

春号（5月発行）

2023年春号

介護の通信

ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識 ① 在宅介護編 ※地域密着型サービス:自治体に住民票を持つ方が対象のサービス

訪問型サービス ●在宅サービス(自宅で生活しながら使うサービス)の一例をご紹介します。

訪問介護(ヘルパー)	訪問看護	訪問入浴	訪問リハビリテーション	定期巡回・随時対応型訪問介護看護(※)
ホームヘルパーが自宅等を訪問し、家事援助や身体介護等を行います。	かかりつけ医の指示のもと、看護師が自宅等を訪問し、処置や健康管理、リハビリを行います。	事業者が浴槽を利用者の自宅に持ち寄り入浴の介助を行います。	リハビリテーション(機能回復訓練)の専門職が自宅等に持ち寄りリハビリテーションを行います。	訪問介護と訪問看護が密接に連携し、24時間体制で定期的な巡回と必要に応じて訪問を行います。

通所型サービス 訪問・通い・宿泊の複合型サービス

通所介護(デイサービス)	通所リハビリテーション(デイケア)	短期入所生活介護・療養介護(ショートステイ)	小規模多機能型居宅介護(※)
日帰り施設にて入浴やリハビリテーション、リハビリ指導のサービスを受けられます。	かかりつけ医の指示のもと、看護師が自宅等を訪問し、処置や健康管理、リハビリを行います。	家族が介護を行えないときに、短期間施設に入所することができます。療養介護は医学的な管理のもと、医療・看護も受けられます。	1つの小規模な施設が、通い(デイサービス)を中心に、訪問介護、短期間の療養(ショートステイ)の3つのサービスを併せて提供し、ニーズに合わせて柔軟に組み合わせることが可能です。

住環境を整える

特定福祉用具貸与(購入)	住宅改修
介護用ベッドや車いすなどの貸与(レンタル)やボタールイフ等を購入できます。	段差の解消や手すりの取付、開け閉めに負担の少ない扉に取換える等、自宅で安全に暮らすための住宅改修工事費用の補助を行います。工事前に申請が必要。

介護の相談窓口のご案内

利用対象:長崎大学学生・教職員
場 所:文教・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール:omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電話:095-819-2179(2179)
介護コンシェルジュが対応します。お気軽にご連絡ください。

学内支援制度や介護保険制度等介護への疑問・質問を気軽にどうぞ下さい。都度回答します。
また、お問い合わせの内容は、Q&Aとして、まとめて公開し、みなさまにお役立ていただけたらと考えています。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市長教訓1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

過去の通信

秋号（9月発行）

2023秋号

介護の通信

ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識 ③ 介護保険外のサービス ●介護保険外サービスの一例をご紹介します。

配食サービス: 定期的な食料(調理したお弁当等)を宅配します。

家事代行: 介護保険外の掃除・片づけ・買い物等専門の業者が行います。

外出支援: 介護保険外の通所付き旅行・買い物等の外出のお手伝い等を行います。

訪問理容サービス: 自宅にて理容師が訪問し、理容を行います。

移送支援サービス: 斜面地等にお住まいで外出が困難な高齢者の方に、通院または日常的な社会参加を支援するために自宅から自力で移動可能な場所まで移送支援を行います。

安心カード: 65歳以上の一人暮らしの高齢者もしくは避難行動要支援者等に最寄りの地域センター、各総合事務所及び各地域包括支援センターで交付します。緊急時の連絡先や健康に関する情報を記入したカードを容器に入れて、冷蔵庫に保管してもらい、救急搬送等が必要ときに届けるものです。

※自治体や地域によって、サービスの種類や内容が異なります。利用対象の方のお住いの地域に自治体にご確認ください。

●金銭管理が不安…

認知症等により、金銭管理が難しくなった時に利用できる制度です。

日常生活自立支援事業

実施主体は: 新潟県・指定都市社会福祉協議会。主に、日常生活費(光熱水費や介護サービス費等)の管理や支払等を行います。

成年後見制度

親族・弁護士・司法書士・行政書士等が家庭裁判所により後見人として選任されます。主に、財産(不動産や貯蓄)等の管理や売買に関すること等について行います。

第2回仕事と介護の両立セミナー

9/14(木) 14:00~15:30

講師: 榊 寿恵氏
(新潟市地域包括支援センター連絡協議会 会長)

オンラインZOOMにて実施

申込はこちら

認知症か? または認知症と初期診断されたら、家族がやるべき事やできる事、進行する前やっておくべき事や本人へのアプローチ方法等について、事例から学びを深めます。

介護準備ハンドブック

「介護準備のABC ~働くあなたのために~」

仕事と介護の両立のための情報提供の一環として学内教職員には無料でお貸ししています。お気軽にお問い合わせください。

介護の相談窓口のご案内

利用対象:長崎大学学生・教職員
場 所:文教・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール:omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電話:095-819-2179(2179)
介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市長教訓1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

夏号（7月発行）

2023年夏号

介護の通信

ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識 ② 施設編 ●施設サービス(施設に入所して使うサービス)の一例をご紹介します。

介護の施設には、有料老人ホームを含めた民間施設と公的施設(介護保険施設)があります。公的施設(介護保険施設):国・自治体、社会福祉法人などによって運営されており、入居費用が比較的安い。入居希望者が多く、順番待ちや入居までに時間がかかる。

民間施設(有料老人ホーム):企業や医療法人などによって運営されており、多様なサービスを提供。設備が充実していることが多いが、入居一時金が必要であったりと費用が施設によりさまざまである。

介護保険施設 有料老人ホーム

特別介護老人ホーム(特養)	介護老人保健施設(老健)	介護サービス		
		自立	△	○
入所には、原則要介護3以上の認定が必要。終身に渡り介護を受けられる施設。	主に在宅復帰を目的にリハビリに特化した施設。対象は要介護1以上。原則3か月以内の入所。	△	○	○
介護医療院	介護療養型医療施設(2024年3月廃止)	○	○	×
医療・介護のどちらにも必要な介護者が長期療養できる医療ケアに特化した施設。対象は要介護1以上。	医療の必要な介護者の長期療養施設。看護上の管理、看護、医学的管理の下における介護その他の必要な医療を受ける。要介護1以上。	○	○	○

その他の施設

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	養護老人ホーム
軽度の認知症の方が入所でき、少人数で共同生活を営みます。地域密着型サービス(自治体に住民票を持つ方が対象のサービス)	環境及び経済的理由から自宅での生活が困難な65歳以上の身体的に自立している高齢者を受け入れて社会復帰を目指す入所施設。所得に応じた負担額。

8/30(水)14:00~15:30 (ZOOM)

第1回仕事と介護の両立セミナー

施設の種類・費用・入居要件等についてぜひご参加ください。申込はこちら

介護の相談窓口のご案内

利用対象:長崎大学学生・教職員
場 所:文教・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール:omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電話:095-819-2179(2179)
介護コンシェルジュが対応します。お気軽にご連絡ください。

学内支援制度や介護保険制度等介護に関する質問を気軽にどうぞ下さい(無記名のフォームです)。都度回答します。

お問い合わせの内容は、学内教職員のみならず、Aの投稿先情報として、当センターホームページにQ&A形式で公開したいと考えています。

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市長教訓1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

冬号（12月発行）

2023年冬号

介護の通信

ダイバーシティ推進センター発

介護の基礎知識 ④介護予防・日常生活支援事業編

要支援・要介護状態になるのを防ぎ、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で、元気に自分らしく生活を送るための支援をすることを目的とした事業です。

生活の中での困りごとなどは、地域包括支援センターにご相談ください。

●要支援1・2又は事業対象者を対象とした事業 ※事業対象者:基本チェックリストの結果、介護予防の必要性があると判断された方

訪問系サービス	通所系サービス
短期集中型訪問サービス、生活援助サービス、介護予防訪問介護相当サービス等があります。	送迎ありの、短期集中型通所サービス・介護予防通所介護相当サービス・ミニデイサービスや、送迎なしの、住民主体型高齢者ふれあいサロン等があります。

●全ての高齢者対象の事業

記載内容は長崎市の一例です。当該事業は、市町村により内容が異なります。詳しくはお住いの地域包括支援センターにお尋ねください。

すこやか運動教室	訪問理容サービス
高齢者のかたが地域で自主的に運動に取り組めるよう、家庭でも取り組める筋力アップのための体操の紹介と、介護予防に関する講話等を行っています。	理容師や美容師へ出向くことが困難な高齢者のかたに、理美容師が自宅へ出向いてサービスを行います。理美容代金は自己負担(理美容費により代金は異なります。)
地域性視による集いの場	歯つらつ健康教室
地域には、高齢者ふれあいサロン、社協サロン、自主グループ等、地域のみでなく運営している集いの場があります。身近な地域のみでなく一緒に、★健康づくり★生きがいづくり★仲間づくりを通して、長く元気に過ごしていきます。	いつでも食事をおいしくいただけるよう、お口の機能を見直し、嚥下体操も紹介し、エッジクックにかかせないお口の老化防止のための教室です。
高齢者ふれあいサロン	緊急時訪問介護
一人暮らし高齢者が増える中で、閉じこもりや孤立を防止することを目的に、高齢者のかたが地域の身近な場所(公民館など)で自主的に集い、交流する場として「高齢者ふれあいサロン」を開設しています。	一人暮らし等の高齢者で、緊急を要する疾患をお持ちのかたに急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図れるよう緊急通報装置を設置し、必要に応じて訪問介護員の派遣を行います。

介護の相談窓口(学内)のご案内

利用対象:長崎大学学生・教職員
場 所:文教・坂本・片瀬各キャンパス・病院
メール:omoyai_soudan@ml.nagasaki-u.ac.jp
電話:095-819-2179
介護コンシェルジュが対応します。どうぞお気軽にご連絡ください。

①在宅介護編②施設編
③介護保険外のサービス編
等、過去の通信はこちら

長崎大学
ダイバーシティ
推進センター

〒852-8521 長崎市長教訓1-14
TEL:095-819-2179/2889 FAX:095-819-2159
mail:omoyai_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

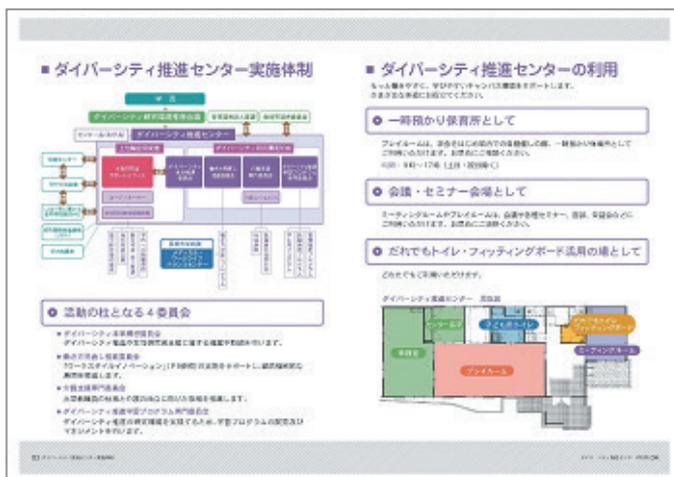
4. センター紹介パンフレット

ダイバーシティ推進センターでは、センターの活動を多くの方に知っていただくために、平成27年度にセンター紹介パンフレットを作成しました。その後、実施体制や活動の柱となる委員会の改編に伴い平成30年2月に、事業の見直し等に伴い令和4年2月に改訂版を発行しました。ダイバーシティ推進センターの理念や運営方針をもとに行っているさまざまな事業内容や取組を分かりやすくまとめています。

※ダイバーシティ推進センターホームページに掲載し、気軽にご覧いただけるようにしています。

<主な内容>

- ・ダイバーシティ推進センター実施体制
- ・ダイバーシティ推進センターの利用
- ・仕事とライフイベントとの両立支援
- ・仕事と育児との両立支援
- ・仕事と介護との両立支援（学内・地域連携）
- ・研究力アップ支援
- ・教職員のためのネットワーキング
- ・ダイバーシティの環境づくり
- ・刊行物紹介



■仕事と介護との両立支援(学内・地域連携)

学内における介護支援

介護コンシェルジュは、長崎大学の教職員が介護と連携して、仕事や研究を安心して継続できるように相談対応します。また、介護実務専門委員会(学内)は、学内での連携だけでなく地域と連携して介護者の支援、企業と介護との関係構築を推進します。

●介護コンシェルジュ

- 両立のための長期的な情報提供
介護状況に応じた、必要な情報の提供を行います。
- 個別コンサルティング
介護が原因で発生した相談や、すでに連携している教職員のコンサルティングを行い、それぞれの状況に応じた相談支援を行います。
- 緊急対応
緊急を要する相談に対しては、男性介護サービス相談者との連携し対応いたします。

●仕事と介護の両立相談窓口

学内の支援体制(介護学際・学際等)や介護実務相談・サービスなど、介護に關する全ての学内教職員が参加の相談窓口です。ご希望の方は、当センターへお電話またはメールにてお申込みください。相談に際しましては、学内委員を連携するともに、相談者のプライバシーを厳重に守りながら相談できるように配慮します。

ダイバーシティ推進センター
E: cd1@cd1.nagasaki-u.ac.jp
TEL: 095-819-2100(学内)または2109(社会)

地域連携による介護支援

行政・民間企業・介護施設等の協力を得ながら、地域の方にも参加していただける協議会・交流会です。

●仕事と介護の両立ワークショップ

介護について理解を深め、大域の教職員の介護理解を促進、不安を軽減してそれぞれの能力を發揮してもらうよう、また、企業と介護を架かせる連携づくりに取り組む(大域的に定例的ワークショップを開催)します。そして、介護について話しやすい職場環境の構築を推進します。



●ケアラーサポーター養成研修

地域のケアラー(介護を介する人)が介護をしなくても、自身も負担をもちながら生活できるよう、ケアラーの認知の普及や心のケアとなるサポーターを養成する目的で、学生や後援教員に介護に関するさまざまな情報を学んでもらっています。



●ケアラーズ交流会(介護者が語り合う場)

地域のケアラー(介護を介する人)の相互を助け、精神的な支えとなるコミュニティを育成することを目的に、ケアラーが持つ悩みや解決の経験交換の場を設けます。

5. ダイバーシティ推進センター主催セミナー一覧

日 時		セミナー名	内 容
5月22日	18:00～19:00	ウェルカムカフェ	※7
5月23日	15:00～17:00	学習プログラムSDセミナー	※1
6月21日	16:10～17:40	ケアラーサポーター育成研修	※3
7月3日	15:00～16:00	学習プログラムSDセミナー	※1
7月5日	16:10～19:20	ケアラーサポーター育成研修	※3
8月7日	15:00～16:00	ダイバーシティオンラインカフェ	※2
8月30日	14:00～15:30	仕事と介護の両立セミナー 学習プログラムSDセミナー	※4
9月7日	13:00～17:00	第14回九州・沖縄アイランド女性研究者支援 シンポジウム 学習プログラムSDセミナー	※5
9月14日	14:00～15:30	仕事と介護の両立セミナー 学習プログラムSDセミナー	※4
9月20日	13:30～15:00	研究力アップセミナー	※2
10月20日	13:30～15:00	学習プログラムSDセミナー	※1
11月8日	13:30～15:00	学習プログラムSDセミナー	※1
11月10日	12:10～13:00	学習プログラムSDセミナー	※1
12月15日	15:00～16:30	学習プログラムSDセミナー	※1
1月29日	14:30～15:30	学習プログラムSDセミナー	※1
2月28日	14:00～16:00	働き方見直しシンポジウム 学習プログラムSDセミナー	※6

※1 学習プログラム25頁参照

※2 女性研究者のネットワークづくり21～23参照

※3 仕事と介護の両立に関するイベント43～44頁参照

※4 仕事と介護の両立に関するイベント41～42頁参照

※5 九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワーク50頁参照

※6 長崎大学ワークスタイルイノベーション（WSI）33～38頁参照

※7 教職員の交流60頁参照

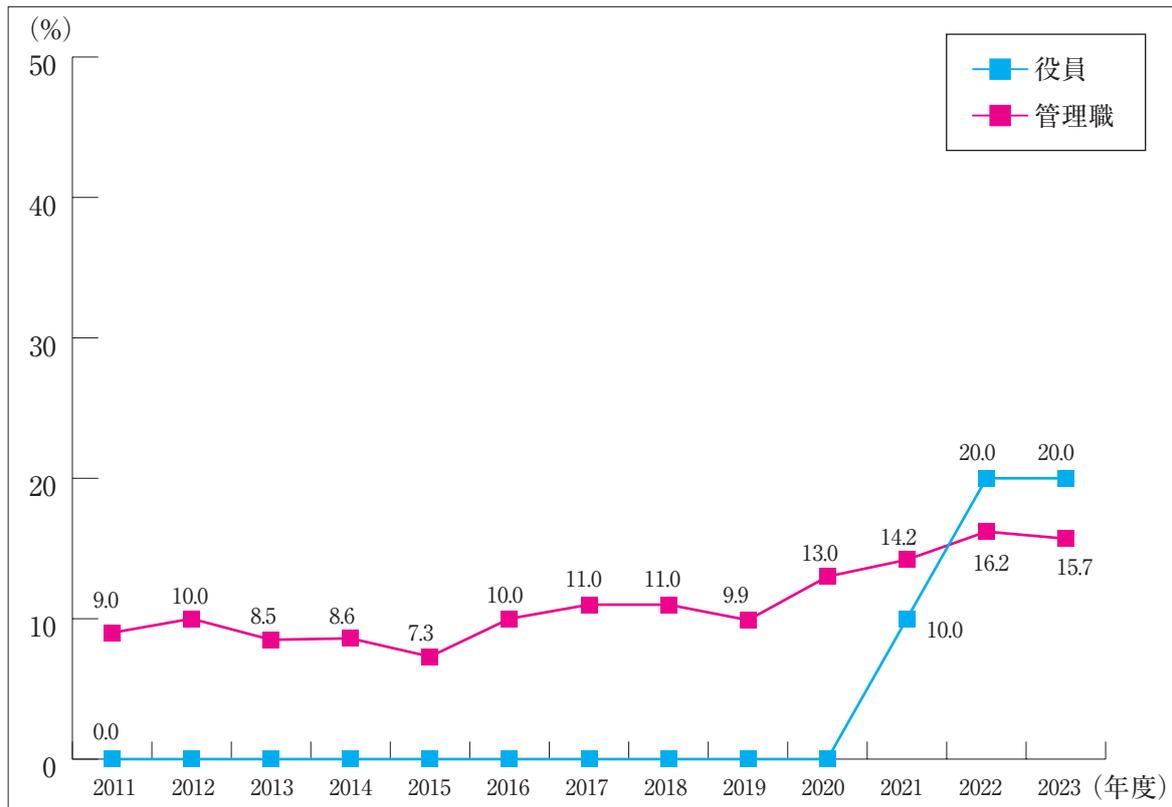
6. 長崎大学における女性教職員・研究者・学生に関わる基礎データ

- 6-1 女性教職員の役員・管理職在職率の推移（2011年度～2023年度）
- 6-2 女性教員採用率の推移（2006年度～2022年度）
- 6-3 女性教員在籍比率の推移（2011年度～2023年度）
- 6-4 部局別女性教員数および比率（2023年度）
- 6-5 部局別女性教員数および比率（2022年度）
- 6-6 部局別女性教職員比率の推移
- 6-7 女性研究者科研費新規採択状況
- 6-8 長崎大学における女子学生の学部・研究科別比率
- 6-9 長崎大学における女子学生の学部・研究科別比率（グラフ）

6-1 女性教職員の役員・管理職在職率の推移 (2011年度～2023年度)

2023年5月1日現在

年度	役員				管理職			
	男性(人数)	女性(人数)	合計	女性比率(%)	男性(人数)	女性(人数)	合計	女性比率(%)
2011	9	0	9	0.0	71	7	78	9.0
2012	9	0	9	0.0	72	8	80	10.0
2013	9	0	9	0.0	75	7	82	8.5
2014	9	0	9	0.0	74	7	81	8.6
2015	9	0	9	0.0	76	6	82	7.3
2016	9	0	9	0.0	72	8	80	10.0
2017	9	0	9	0.0	73	9	82	11.0
2018	9	0	9	0.0	81	10	91	11.0
2019	9	0	9	0.0	82	9	91	9.9
2020	10	0	10	0.0	94	14	108	13.0
2021	9	1	10	10.0	91	15	106	14.2
2022	8	2	10	20.0	83	16	99	16.2
2023	8	2	10	20.0	86	16	102	15.7



6-2 女性教員採用率の推移（2006年度～2023年度）

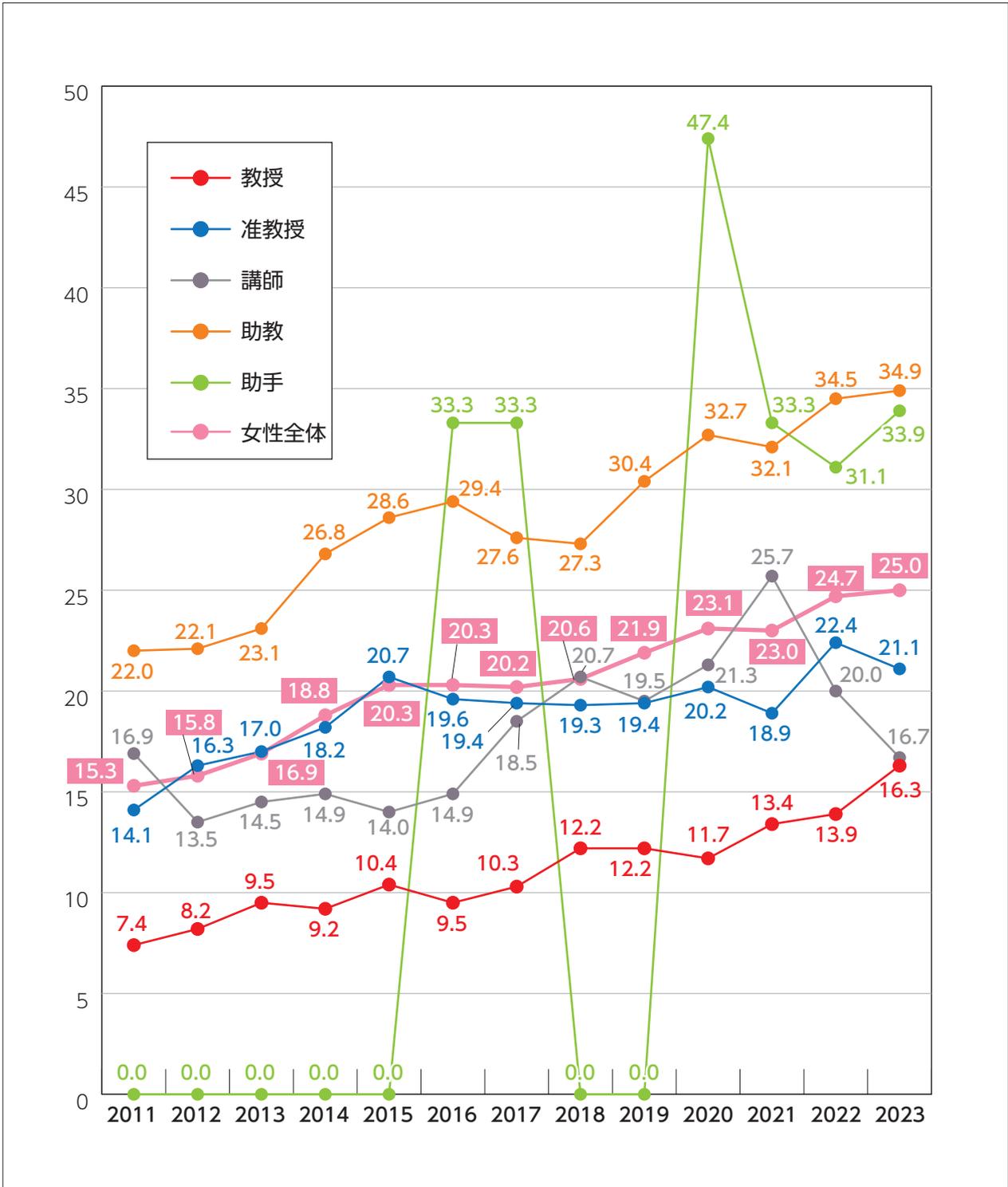
2024年2月1日現在

年度	男性（人数）	女性（人数）	合計	女性比率（%）
2006	79	15	94	16.0
2007	87	28	115	24.3
2008	85	22	107	20.6
2009	104	21	125	16.8
2010	102	20	122	16.4
2011	92	25	117	21.4
2012	128	34	162	21.0
2013	136	36	172	20.9
2014	87	71	158	44.9
2015	121	37	158	23.4
2016	110	40	150	26.7
2017	90	30	120	25.0
2018	117	38	155	24.5
2019	92	51	143	35.7
2020	104	32	136	23.5
2021	92	36	128	28.1
2022	98	55	153	35.9
2023	91	51	142	35.9



6-3 女性教員在籍比率の推移 (2011年度～2023年度)

※女性教員比率：各年5月1日現在の女性教員数の比率（助手を含む）



6-4 部局別女性教員数および比率 (2023年度)

2023年5月1日現在
朱書斜体は女性の内数
(人) (%)

	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域 (教育学系)	25	6	37	11	0	0	5	4	0	0	67	21	31.3
人文社会科学域 (経済学系)	14	4	19	4	2	1	6	3	0	0	41	12	29.3
人文社会科学域 (多文化社会学系)	9	3	13	2	0	0	4	1	0	0	26	6	23.1
総合生産科学域 (環境科学系)	18	2	20	5	0	0	1	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域 (工学系)	30	5	38	3	0	0	21	0	1	0	90	8	8.9
総合生産科学域 (水産学系)	21	1	14	6	0	0	4	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域 (情報データ科学系)	11	1	12	0	0	0	6	1	0	0	29	2	6.9
水産学部	1	0	4	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	4	0	1	0	2	0	2	1	0	0	9	1	11.1
生命医科学域 (医学系)	38	3	33	3	10	1	45	16	0	0	126	23	18.3
生命医科学域 (歯学系)	15	3	17	4	0	0	36	12	0	0	68	19	27.9
生命医科学域 (薬学系)	15	2	16	1	0	0	13	4	0	0	44	7	15.9
生命医科学域 (保健学系)	20	7	14	7	0	0	18	14	0	0	52	28	53.8
生命医科学域 (熱帯医学・グローバルヘルス系)	12	2	5	2	0	0	6	5	0	0	23	9	39.1
グローバル連携機構	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5	2	40.0
研究開発推進機構	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
海洋未来イノベーション機構	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
熱帯医学研究所	15	2	8	1	0	0	28	14	0	0	51	17	33.3
原爆後障害医療研究所	10	2	7	1	0	0	18	9	0	0	35	12	34.3
病院	18	3	17	3	57	9	166	48	58	20	316	83	26.3
高度感染症研究センター (旧感染症共同研究拠点)	6	1	6	2	0	0	5	2	0	0	17	5	29.4
留学生教育・支援センター	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	3	3	100.0
保健センター	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	4	2	50.0
ICT基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	4	0	3	2	0	0	1	1	0	0	8	3	37.5
言語教育研究センター	5	2	1	0	1	1	7	3	0	0	14	6	42.9
核兵器廃絶研究センター	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
放射線総合センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.0
感染症研究出島特区	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0.0
*広報戦略本部ほか	2	0	2	1	0	0	1	0	0	0	5	1	20.0
総計	307	50	304	64	72	12	404	141	59	20	1,146	287	25.0
女性比率	16.3		21.1		16.7		34.9		33.9				

* 広報戦略本部ほか：広報戦略本部、バイオセーフティ管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

6-5 部局別女性教員数および比率（2022年度）

2022年5月1日現在
朱書斜体は女性の内数
(人) (%)

	教授		准教授		講師		助教		助手		計	女性計	女性比率
	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女	男女	女			
人文社会科学域（教育学系）	34	8	41	11	0	0	3	2	0	0	78	21	26.9
人文社会科学域（経済学系）	14	3	20	6	2	1	5	3	0	0	41	13	31.7
人文社会科学域（多文化社会学系）	8	2	16	4	0	0	6	2	0	0	30	8	26.7
総合生産科学域（環境科学系）	18	2	20	5	0	0	2	0	0	0	40	7	17.5
総合生産科学域（工学系）	30	3	37	2	0	0	22	0	1	0	90	5	5.6
総合生産科学域（水産学系）	21	1	15	6	0	0	3	0	0	0	39	7	17.9
総合生産科学域（情報データ科学系）	11	1	12	0	0	0	6	1	0	0	29	2	6.9
水産学部	1	0	4	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
生命医科学域	2	0	1	0	2	0	2	1	0	0	7	1	14.3
生命医科学域（医学系）	37	2	32	3	12	1	47	14	0	0	128	20	15.6
生命医科学域（歯学系）	17	3	18	5	0	0	41	14	0	0	76	22	28.9
生命医科学域（薬学系）	15	2	15	1	0	0	9	1	0	0	39	4	10.3
生命医科学域（保健学系）	20	7	15	7	0	0	14	11	0	0	49	25	51.0
グローバル連携機構	1	0	2	1	0	0	2	1	0	0	5	2	40.0
研究開発推進機構	1	1	4	1	0	0	1	1	0	0	6	3	50.0
海洋未来イノベーション機構	4	0	1	0	0	0	3	0	0	0	8	0	0.0
熱帯医学・グローバルヘルス研究科	9	0	5	2	0	0	6	5	0	0	20	7	35.0
熱帯医学研究所	13	1	8	2	0	0	26	9	0	0	47	12	25.5
原爆後障害医療研究所	10	1	5	1	0	0	21	12	0	0	36	14	38.9
病院	18	3	16	2	53	11	176	57	44	14	307	87	28.3
高度感染症研究センター	6	1	3	1	0	0	3	2	0	0	12	4	33.3
留学生教育・支援センター	1	0	3	3	0	0	1	1	0	0	5	4	80.0
保健センター	0	0	3	1	0	0	2	2	0	0	5	3	60.0
ICT基盤センター	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0.0
教育開発推進機構	4	0	3	2	0	0	1	1	0	0	8	3	37.5
言語教育研究センター	6	2	1	0	1	1	7	3	0	0	15	6	40.0
核兵器廃絶研究センター	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1	25.0
ダイバーシティ推進センター	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0
先端創薬イノベーションセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
環境保全センター	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
放射線総合センター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.0
感染症研究出島特区	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0
*広報戦略本部ほか	3	0	2	1	0	0	1	0	0	0	6	1	16.7
総計	310	43	308	69	70	14	414	143	45	14	1,147	283	24.7
女性比率	13.9		22.4		20.0		34.5		31.1				

*広報戦略本部ほか：広報戦略本部、計画・評価本部、バイオセーフティ管理官室、障がい学生支援室、キャリアセンター

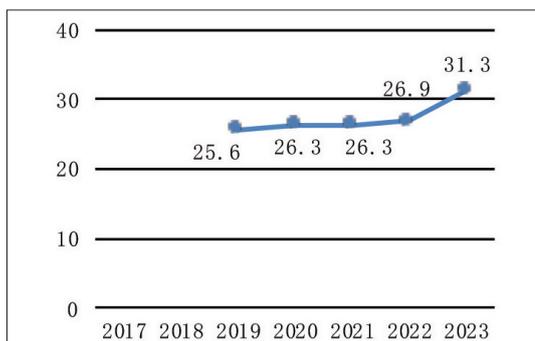
6-6 部局別女性教職員比率の推移

※女性教員比率：各年5月1日現在の学部・研究科教員数における女性教員数の比率（助手を含む）

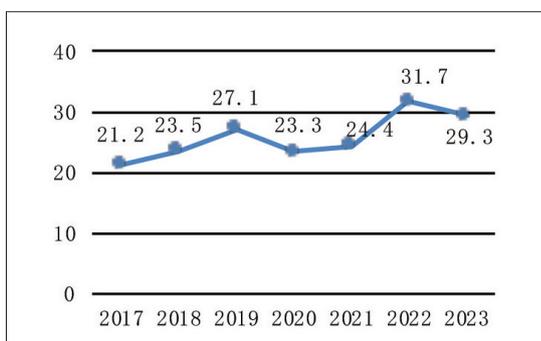
教育学研究科/教育学部



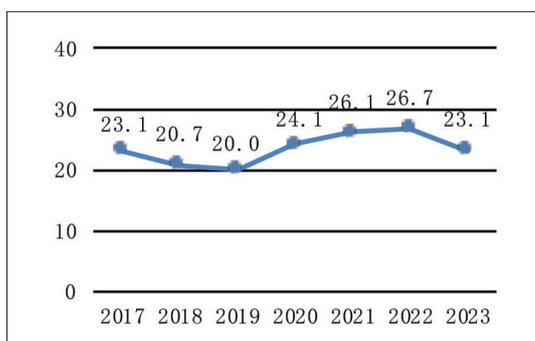
人文社会科学域（教育学系）



人文社会科学域（経済学系）



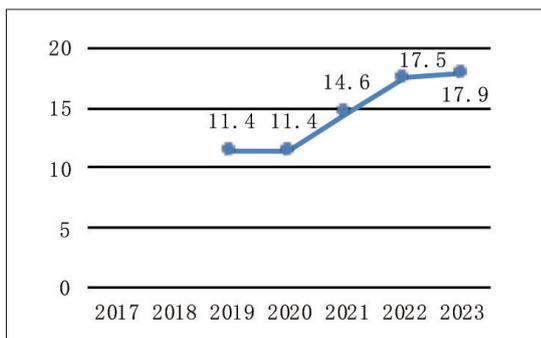
人文社会科学域（多文化社会学系）



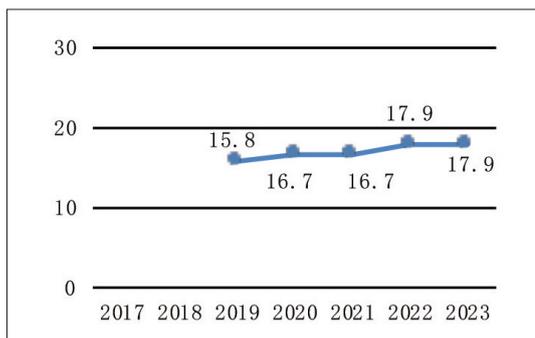
2019年に学域が設置され、教育学部・教育学研究科、経済学部、多文化社会学部の教員は人文社会科学域に配置換となりました。

2019年に学域が設置され、水産学部、水産・環境科学総合研究科、工学研究科の教員は総合生産科学域に配置換となりました。

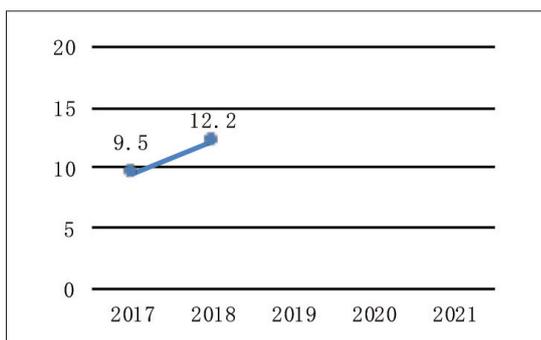
総合生産学域（環境科学系）



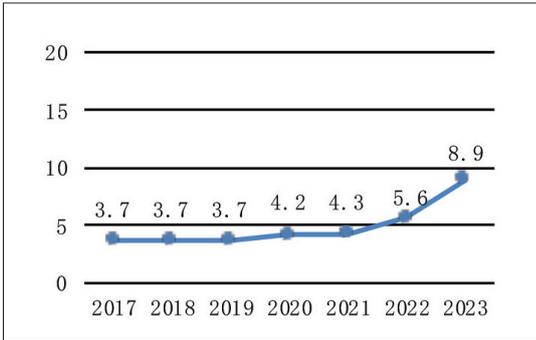
総合生産科学域（水産学系）



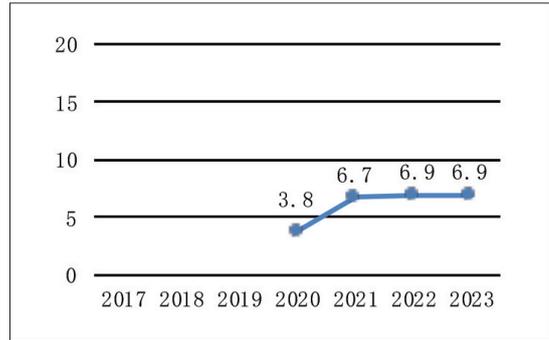
水産・環境科学総合研究科



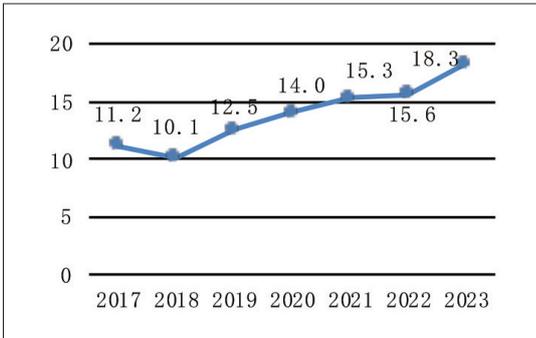
総合生産科学域（工学系）



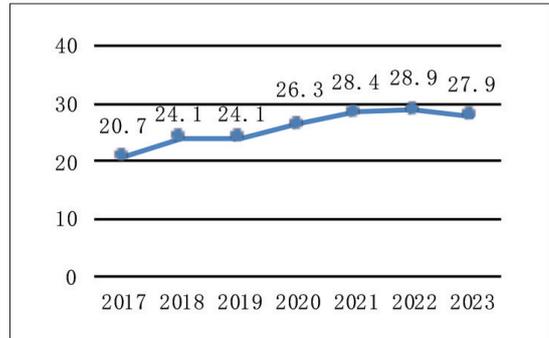
総合生産科学域（情報データ科学系）



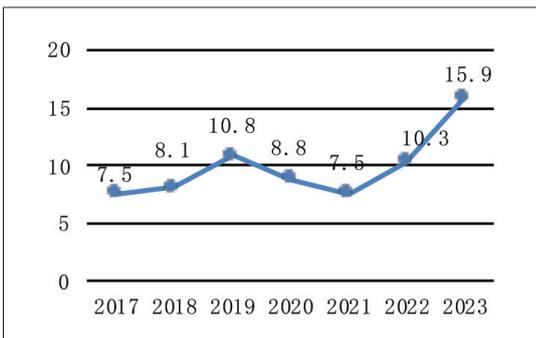
生命医科学域（医学系）



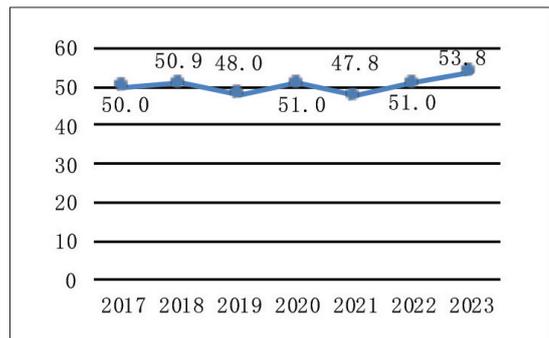
生命医科学域（歯学系）



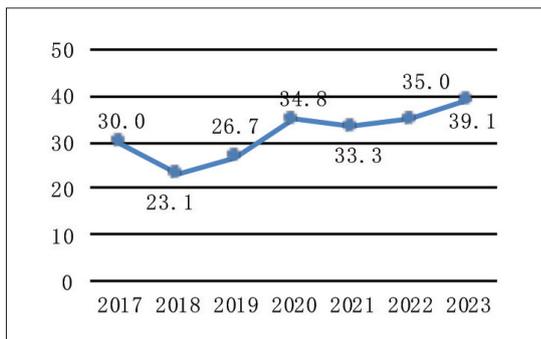
生命医科学域（薬学系）



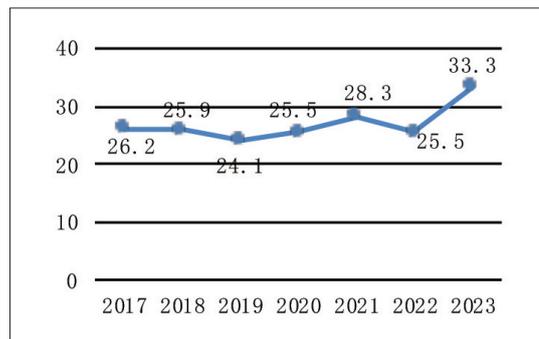
生命医科学域（保健学系）



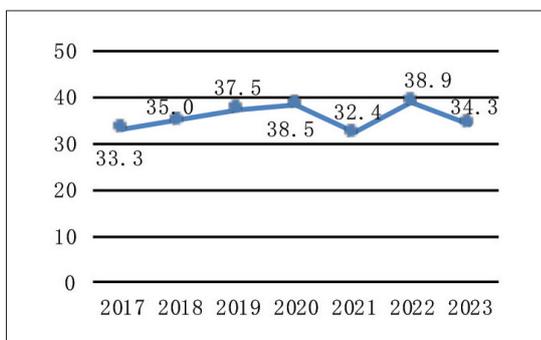
熱帯医学・グローバルヘルス研究科



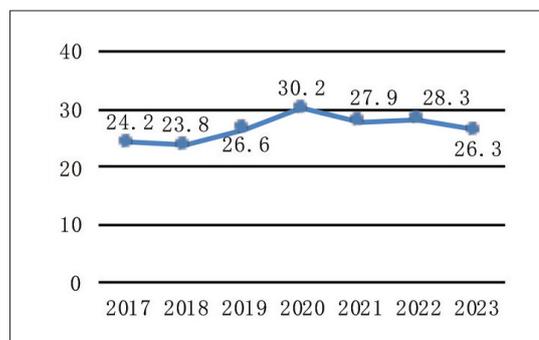
熱帯医学研究所



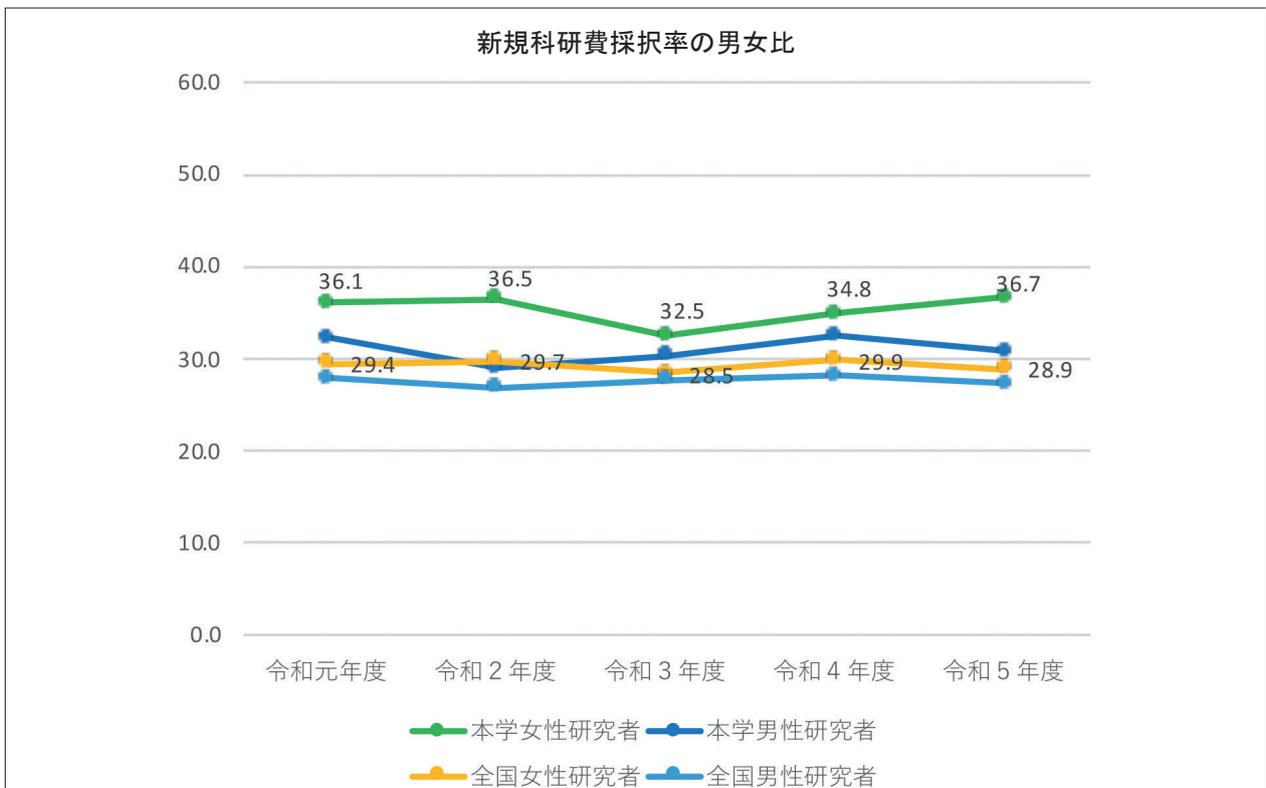
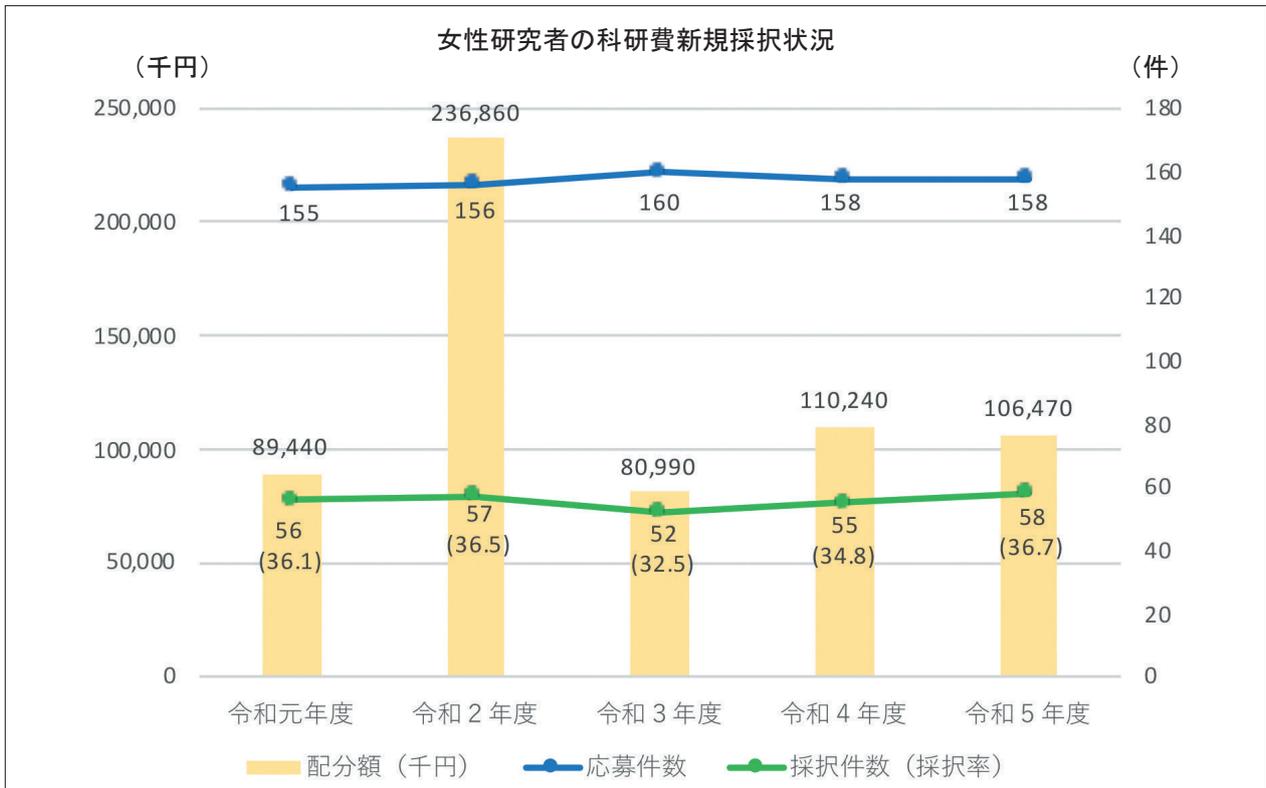
原爆後障害医療研究所



病院



6-7 女性研究者科研費新規採択状況



6-8 長崎大学における女子学生への学部・研究科別在籍比率

各年5月1日現在

学部学生

学部	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023			
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率		
多文化社会学部	272	193	71.0%	265	184	69.4%	435	304	69.9%	448	312	69.6%	442	314	71.0%	455	333	73.2%
教育学部	982	317	32.3%	994	303	30.5%	982	301	30.6%	929	278	29.8%	796	274	34.4%	742	274	36.9%
経済学部	1576	998	63.4%	1454	936	64.4%	1453	919	63.2%	1430	928	65.0%	1435	940	65.5%	1393	898	64.5%
医学部	1207	636	52.7%	1206	645	53.5%	1210	622	51.4%	1190	615	51.7%	1197	591	49.4%	1201	568	47.3%
薬学部	318	186	58.5%	315	192	60.9%	313	185	59.1%	308	172	55.8%	311	169	54.3%	313	166	53.0%
情報メディア学部	429	233	54.3%	432	237	54.9%	426	220	51.7%	425	227	53.4%	423	209	49.4%	413	199	48.2%
工学部	1703	1501	88.2%	1665	1456	87.5%	1650	1433	86.8%	1585	1365	86.2%	1530	1337	87.7%	1451	1261	86.9%
環境科学部	581	321	55.2%	563	321	57.0%	568	331	58.3%	579	329	56.8%	570	326	57.2%	566	314	55.5%
水産学部	476	346	72.7%	483	348	72.0%	481	357	74.2%	478	355	74.3%	475	364	76.6%	463	353	76.2%
総計	7544	4617	61.2%	7481	4542	60.7%	7502	4505	59.9%	7488	4502	59.9%	7475	4543	60.8%	7419	4485	60.5%

研究科(修士及び博士前期課程)

研究科名	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023						
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率					
多文化社会学研究科					11	4	36.4%	21	8	38.1%	22	10	45.5%	26	8	30.8%	24	8	33.3%		
教育学研究科																					
経済学研究科	32	20	62.5%	30	20	66.7%	35	18	51.4%	30	16	53.3%	26	14	53.8%	28	13	46.4%	30	18	60.0%
工学研究科	430	390	90.7%	424	383	90.3%	457	398	87.1%	439	396	90.2%	410	372	90.7%	435	380	87.3%	465	406	87.3%
水産・環境科学総合研究科	119	81	67.2%	113	74	65.5%	104	62	59.6%	114	88	77.2%	109	66	60.6%	126	83	65.9%	143	83	58.0%
生産科学研究科	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
医歯薬学総合研究科	118	62	52.5%	127	65	51.2%	125	63	50.4%	129	61	47.3%	140	61	43.6%	153	60	39.2%	149	66	44.3%
獣医学・グローバルヘルス研究科	3116	1548	49.7%	51	23	45.1%	67	30	44.8%	72	25	34.7%	73	27	37.0%	79	27	34.2%	76	30	39.5%
国際健康開発研究科	2	0	0%	1	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
計	732	569	77.8%	746	565	75.7%	825	603	73.1%	806	596	73.9%	784	548	70.0%	843	568	67.5%	870	611	70.2%

研究科(博士及び博士後期課程)

研究科名	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023						
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率					
多文化社会学研究科																					
経済学研究科	12	6	50.0%	14	8	57.1%	15	10	66.7%	13	6	46.2%	13	6	46.2%	13	8	61.5%	13	9	69.2%
工学研究科	74	62	83.8%	72	58	80.6%	72	61	84.7%	60	51	85.0%	59	49	83.1%	63	53	84.1%	74	60	81.1%
水産・環境科学総合研究科	68	41	59.9%	68	43	63.0%	65	34	52.3%	46	26	56.5%	44	24	54.5%	42	25	60.0%	40	23	57.5%
生産科学研究科	11	10	90.9%	6	6	100%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
医歯薬学総合研究科	589	384	65.2%	572	364	63.6%	563	364	64.7%	562	373	66.4%	567	377	66.5%	556	372	66.9%	566	361	63.8%
農薬学・グローバルヘルス研究科																					
ブライタリー・ヘルス学環																					
計	754	503	66.7%	732	479	65.4%	710	470	66.2%	705	467	66.3%	720	471	65.4%	722	479	66.3%	742	479	64.6%

専門職学位課程

研究科名	2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023						
	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率	計	女性比率					
教育学研究科	67	33	49.3%	0	0	0%	51	30	58.8%	58	30	51.7%	53	24	45.3%	53	26	49.1%	44	23	52.3%

6-9 女子学生の学部・研究科別在籍比率の推移 (グラフ)

各年5月1日現在

